

学校教育目標

『学・恕・夢 ～学びあい 思いあい 夢を育てる蓮南中～』



はなみずき

令和3年度
学校だより第3号
1年生125名
2年生130名
3年生93名

「家庭・地域・学校の連携」を大切にしている蓮田市立蓮田南中学校 令和3年6月1日
本校ホームページ <http://hasunanchu.world.coocan.jp/> ☎048-769-2021

「かぎりなくやさしい人たち」

校長 設楽 博文

星野富弘さんの「かぎりなくやさしい花々」を思い出しました。今の季節は、草花の美しさを強く感じます。だから、この自然を残すことが私たちの使命であると思います。田んぼのカエルはものすごい大合唱をしています。よくあれだけの声が出せる。でも、全くうるさいとは感じない。相方の犬も気にしていない。生徒たちにも、早く思いきり声を出して歌ってほしいです。あの澄んだ、心の洗われるような声で。

今、その花々と同じくらい優しい人たちに囲まれています。先月末、離任式ができました。去年は、生徒に寂しい思いをさせました。今年は、1年生は下校し、2・3年生で行いました。私は懐かしさで一杯で、心を込めて紹介しました。コロナに翻弄された一年を共に乗り越えた仲間を。そして、ステージの隣で一人一人の話を聞きました。すると、棚の上にリボンで綴じられた分厚い紙の束を見つけました。生徒が離任した職員へ書いた手紙でした。本校生徒は、本当に心のこもった優しい手紙を書きます。一所懸命、ていねいに感謝を込めて。あれをもらったら、職員は何回も読み返して大切にしよう。この離任式は、まるで職員の卒業式のように、お互いに別れを惜しみ、感謝を表す尊い機会だということを改めて感じました。

私もこれまで生徒からたくさん優しい言霊をもらいました。～放送によるふれあい講演会後～「全校生徒が教室の中にいるのに、雨の中、傘をさして講師を紹介して、歌を披露する。あんなことを何の恥じらいもなくできることがすごいと思った。自分も勇気と面白い発想力を学びたい。」「私たちが全く想像しないようなことをしていて、無限の可能性を感じられた。」～卒業前の手紙から～「学校を自分からきれいにしてくれた。」「朝会での言葉はいつも心にグッとくるものがあった。」「読み物資料は、いろんなジャンルのおもしろい話が読めてうれしかった。」「英語のプリントを作ってくれて受験でも役にたった。」「はなみずきを読むのをひそかに僕は楽しみにしていた。保護犬はもう散歩慣れたかな?」「面接練習では、答を用意するだけでなく、緊張の中でいかに自分の考えを言葉にするかという対応力を学んだ。」「大きなふとこころは全生徒の支えだった。」「毎回伝えたい気持ちがはっきりしていて、こんな世になっても力強い歌で元気が出た。」「先生のいる時にこの学校にいられてよかった。」

地域の方々の優しさとヘルプに支えられて学校は生きます。批判もまた同じです。「問題を抱える保護者への校長の対応が悪い。」「始業式に歌う必要があるのか。」それらも全部含めて、反応がとても早いので、すぐに次の動きがとれます。何かあれば、自分のことはさて置いて、駆けつけてくれます。ここでも、励ましのメールや手紙、温かい言葉に救われます。「卒業式の式辞には驚きましたが、自身の体験を踏まえ、精一杯頑張れというエールを身を以て送られたのかと納得しました。」「学校だよりの文章から、型にはまらない自由さや温かさ、個性的な人柄を感じていました。」「サンタさん、いつも食材の提供ありがとう。(はい、トナカイですけど)」「あのメッセージツールでもある歌には、人としての経験値が作り出す魅力が滲み出ており、信念を貫く強さが感じられいつも心に響きます。」「貴方の照れを突き抜けた行動は、泥臭い青春ドラマそのもので、周りの大人は笑うでしょうが、子供は感動します。私は、メールのやり取りで想像していたよりずっと活力溢れた貴方の姿にほっとしました。可愛い子供たちに可愛いって言える、その純な声かけは思春期の中学生に確実に響くものがあります。親も先生も、明るく元気が子供の栄養になりますね。」さあ今日も一歩進もう!